

衝撃試験装置のご案内

関西事業所では、製品などが乱暴に扱われたり、誤って落下してしまう等の状況を模擬した衝撃パルスを発生させる、再現性に優れた衝撃試験装置を備えております。衝撃試験は、製品などの耐久性や信頼性を評価する際に必要不可欠な手法であり、様々な産業分野の製品開発においても重要な役割を果たしています。この衝撃試験装置を活用した各種試験が可能ですので、是非ご利用下さい。

また、お客様のご希望により立会試験（お客様の立ち会い）をお受けしていますので、お気軽にご相談下さい。

<対応規格>

IEC 62133-1、JIS C 62133-1、JIS C 8514、IEC 62133-2、JIS C 62133-2、UN38.3 (T4)、他

<対応製品>

リチウムイオン蓄電池、他

<試験装置の概要>

最大加速度 : 5,000 G (0.5 msec, 無負荷時)
作用時間 : 0.1~60 msec
最大終端速度 : 15.6 m/sec
発生波形 : 正弦半波
最大搭載重量 : 100 kg (加速度5,000 Gは上限50 kg)
試料台寸法 : 40 × 40 cm



(コントロールユニット)



(衝撃試験機)

※セーフティフェンス付き

【お問い合わせ先】

(一財) 電気安全環境研究所
カスタマーサービスセンター
E-mail : cs@jet.or.jp

